

飼料用米の多収を目指した栽培講習会を開催

飼料用米の多収を目指すため、府内 3 地域で 61 名が参加して栽培講習会を開催しました。

講習会では、タスクチーム*活動の中で得られた多収栽培技術や鶏ふんを施用するコツ、新たに府で認定した多収性品種や優良事例の紹介を行いました。栽培農家からは、「鶏ふん利用の栽培を一から見直して取り組みたい」、「ほ場の互見会を開催してほしい」など多くの意見が寄せられ、飼料用米増産意欲が伺えました。

タスクチームでは、27 年度は京都府版の栽培マニュアル作成に向けて実証支援活動を行っていきます。

※タスクチーム活動：研究機関と普及組織等の総合力を発揮し、生産者を伴走支援することで現地課題を早期に解決する活動



中丹地域 (3月3日)



丹後地域 (3月10日)